

旧石垣空港跡地全域の不発弾磁気探査の実施を求める要請決議

平成 25 年 3 月 7 日、市民待望の南ぬ島石垣空港が開港し、特に昨年は、111 万 6 千人の観光入域客数と 657 億円の観光消費額で過去最高を記録するなど地域経済の活性化が期待されているところであります。

一方、旧石垣空港跡地は、第二次大戦時中に旧海軍飛行場として建設され、戦後は、滑走路やエプロンの整備拡張を行いながら民生利用されており、昭和 50 年から、南ぬ島石垣空港開港までの間、地方管理空港として活用され、現在、跡地利用に向け沖縄県が原状回復工事を行っているところであり、先行して、石垣市消防本部・消防署が平成 25 年度に移転を終え、さらに八重山郡の中核拠点病院である県立八重山病院が平成 29 年度に開院を予定しております。

このような中、平成 27 年 3 月には、旧空港跡地での県道石垣空港線整備事業工事中の磁気探査にて 250 キロ爆弾及び 50 キロ爆弾の不発弾 2 発が発見されました。

戦時中、旧空港跡地は、旧海軍飛行場として使用されていたため多くの爆撃を受けており、いまだに多くの不発弾が取り残されていると思慮されます。

今後、県立八重山病院建設後に周辺で不発弾が発見された場合、不発弾処理による病院からの患者等の移動、立入制限等を余儀なくされ、安全の確保や郡内医療体制の機能維持が保たれなくなる状況が危惧されます。

よって、当市議会は、旧石垣空港跡地全域の不発弾磁気探査を沖縄県において早急に実施していただくよう強く要請いたします。

以上、決議する。

平成 27 年 4 月 24 日

石 垣 市 議 会

あて先

沖縄県知事、沖縄県議会議長、地元選出県議会議員